

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 夕張市内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数:小学校1校・児童数21名、中学校1校・生徒数22名

○ 実技に関する調査の状況

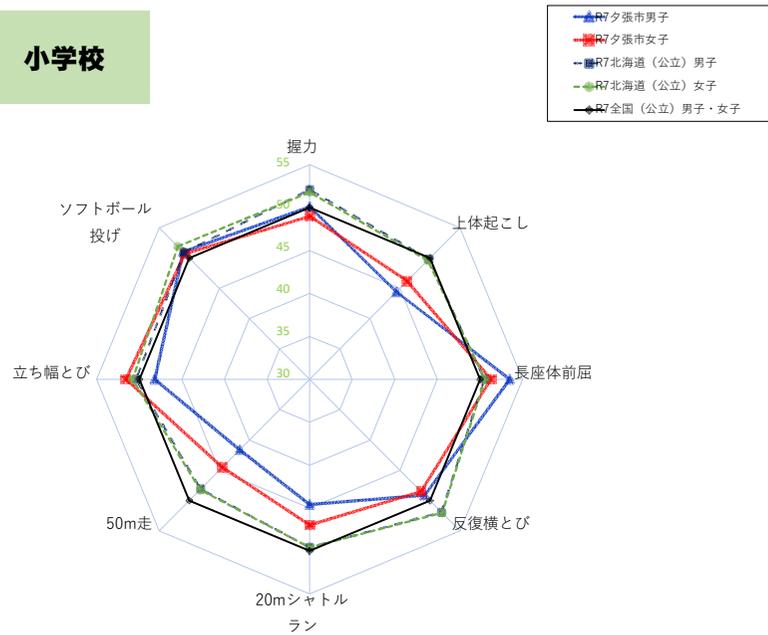
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
R7夕張市男子	16.00	16.00	37.00	40.13	36.38	10.39	146.50	21.88	49.38
R7夕張市女子	15.23	16.23	39.31	37.54	32.10	10.32	146.17	13.45	57.25
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

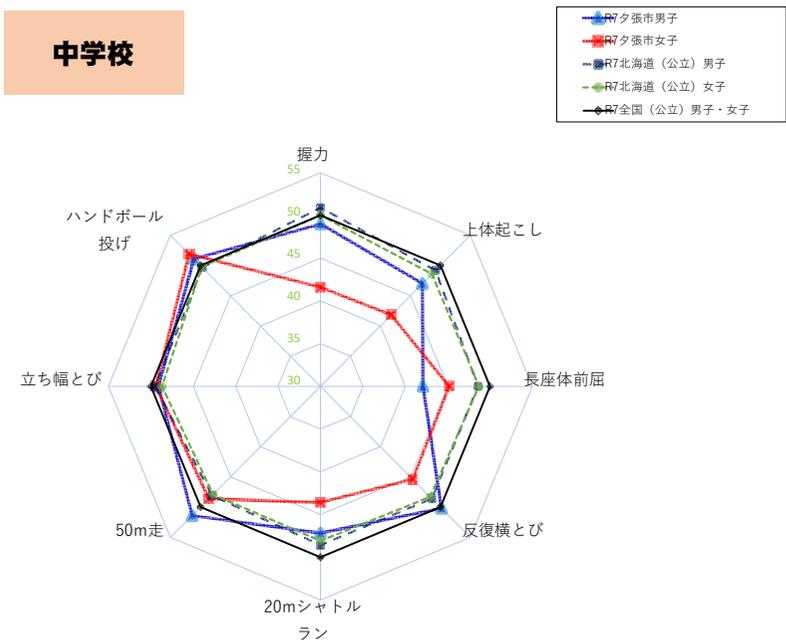
中学校	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
R7夕張市男子	28.21	24.21	36.11	51.84	71.78	7.87	194.53	21.44	39.59
R7夕張市女子	19.17	16.69	41.69	42.15	38.00	9.10	164.85	13.27	39.75
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

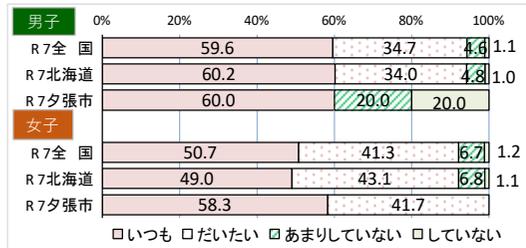


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

・体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



【児童質問調査】

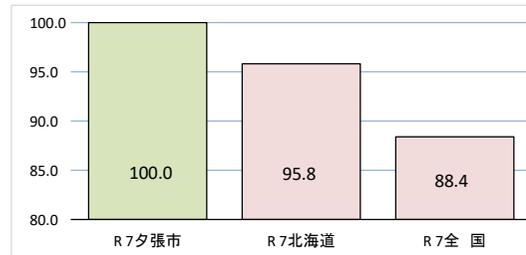
・体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



【学校質問調査】

小学校

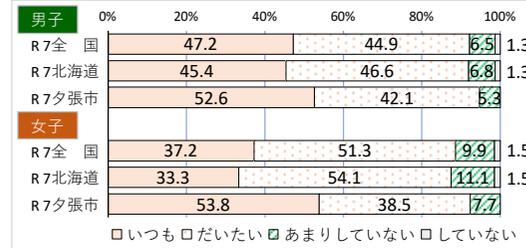
・体力・運動能力の向上のために、調査やデータ等に基づきPDCAサイクルの確立に取り組んでいる。



中学校

【生徒質問調査】

・保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



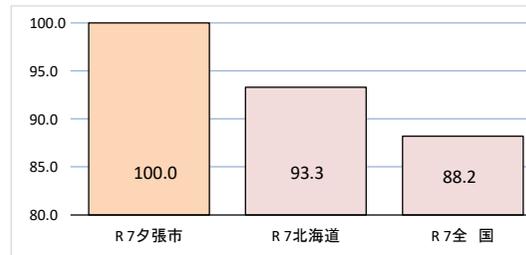
【生徒質問調査】

・体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



中学校

・体力・運動能力の向上のために、調査やデータ等に基づきPDCAサイクルの確立に取り組んでいる。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・体育授業において積極的にICTを活用するとともに、調査やデータ等に基づきPDCAサイクルの確立に取り組んだことにより、授業改善が図られ、「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」という問いに対して、特に女子は肯定的な回答をした児童の割合が高くなったと考えられる。

【課題】

・実技集計のT得点において、女子は体力合計点が全国及び全道を上回ったが、男子はどちらも下回った。男子においては、体育の授業への参加態度に二極化傾向が見られるため、目標設定の仕方を工夫するなど、男子にも女子にも達成感や成就感、学ぶ喜びを感じさせることができる更なる授業改善が求められる。

中学校

【成果】

・「新体力テスト」の結果を基に、自己の体力・運動能力の現状についての理解を深めさせる取組の充実を図ったことで、「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」と回答している生徒の割合が高くなったと考えられる。そのため中学校においては、「保健体育の授業では、進んで学習に参加している」と肯定的な回答をしている割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・ICTの活用頻度が高いものの、活用場面や活用方法等にやや課題があると思われるため、「ICTを使って学習することで、できたり、わかったりすることがある」と肯定的に回答している生徒の割合が全道を下回ったと考えられる。

■ 夕張市の体力向上に向けた改善方策

- ・小・中学校の全ての学年での「新体力テスト」の実施
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の提示
- ・小中一貫教育推進委員会及び小中合同研修の取組を通じた、体力・運動能力の向上に向けた方策の推進
- ・スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・「どさん子元気アップチャレンジ」を含めた体力向上に向けた授業以外での運動機会の充実を図る取組の推進
- ・「外部指導者活用事業」を利用した、魅力ある部活動の推進